

# 1 国 語

4 4 千葉県立市川西高等学校

<b>「現代文」</b>	単 位 数	4 単 位
	学科・学年・学級	普通科 第3学年1組～5組

## 1 学習の到達目標等

学習の到達目標	近代以降の様々な文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方感じ方、考え方を深め、進んで表現し読書することによって人生を豊かにする態度を育てます。
使用教科書・副教材等	「改訂版標準現代文」(第一学習社) 「ポイント整理 常用漢字の学習」(明治書院)

## 2 学習計画及び評価方法等

### (1) 学習計画等

学 期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	備考(学習活動の特記事項,他教科・総合的な学習の時間・特別活動との関連など)	考 査 範 囲	
第1学期	1 随想:「木の自由を考えながら」 2 随想:「私という自分」 3 小説:「相棒」 4 小説:「ナイン」  *常用漢字テスト	4  5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な話題を取り上げながら、そこに潜む問題点を指摘し、言語生活のあり方について考えます。</li> <li>・筆者が自由の価値をどこに見いだしているのかをつかみ、人生についての考えを深めます。</li> <li>・登場人物の心の動きを場面に即して深く読み取ります。</li> <li>・作品を深く味わい、人間についての考えを豊かにします。</li> <li>・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が正確に書けるようにします。</li> </ul>	・テキストに従って出題します。	第1学期中間 考査	
	1 評論: 「情けは人の・・・」 2 評論:「空虚なコミュニケーション」 3 小説:「ミラクル」 4 随想:「孤独を友とせよ」  *常用漢字テスト	6  7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評論文の展開・要旨を的確に捉えます。</li> <li>・筆者の考え方・感じ方・関心のあり方・表現の仕方などを理解する能力を養います。</li> <li>・人の内面に迫った小説を読解し、自分自身を見つめていく契機とします。</li> <li>・筆者の問題提起を的確に把握し、自分たちの日常をどう関わっているかを観察します。</li> <li>・常用漢字の読みになれ、主な常用漢字が正確に書けるようにします。</li> </ul>	・テキストに従って出題します。	第1学期期 末考査	
	<b>【課題・提出物等】</b> 1 授業の中で使用するプリントやワークシート 2 ノート					
	<b>【第1学期の評価方法】</b> 中間考査と期末考査の成績、常用漢字テストの成績、プリント・ワークシートおよび学習活動への参加の姿勢や態度を総合して評価します。					
第2学期	1 随想:「ワスレナグサ」 2 評論:「メディアに軽重はあるか」	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の極北の動物や自然に対する認識を理解し、生命というものを改めて考えます。</li> <li>・筆者の問題意識を正しく理解し、メールを中心とし</li> </ul>		第	

第 2 学 期	3 小説：「鼻」 4 小説：「こころ」 *常用漢字テスト	10	た現代人のコミュニケーションのあり方について考えます。 ・登場人物の心の動きを場面の展開に沿って読み解きます。 ・小説を味わうと共に人の生き方についても考えます。	・テキストに従って出題します。	2 学 期 中 間 考 査
	1 評論：「夢見るダイバー人形」 2 小説：「ひよこの眼」 3 小説：「おおるり」 *常用漢字テスト	10 11 12	・「自己責任」について考察します。 ・等身大の登場人物のありようから、生と死というものを改めて考えます。 ・作品を深く味わい、人間についての考察をいっそう深めます。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が正確に書けるようにします。	・テキストに従って出題します。	第 2 学 期 期 末 考 査
	<b>【課題・提出物等】</b> 1 授業の中で使用するプリントやワークシート 2 ノート  <b>【第2学期の評価方法】</b> 中間考査と期末考査の成績、常用漢字テストの成績、プリント・ワークシートおよび、学習活動への参加の姿勢や態度を総合して評価します。				
第 3 学 期	1 小説：「山月記」 2 評論：「経験の教えについて」 3 *常用漢字テスト	1	・人間の生き方をめぐる問題への関心を高め、人間についての理解を深めて、小説から人生の糧を得る経験を学びます。 ・「経験の教え」という題名の持つ意味や筆者の問題意識を読み取り、自分の生き方を見つめ直します。 ・常用漢字の読みになれ、主な常用漢字が正確に書けるようにします。	・テキストに従って出題します。	第 3 学 期 期 末 考 査
	<b>【課題・提出物等】</b> 1 授業の中で使用するプリントやワークシート 2 ノート  <b>【第3学期の評価方法】</b> 学年末考査の成績、常用漢字テストの成績、プリント・ワークシートおよび学習活動への参加の姿勢や態度を総合して評価します。				
	<b>【年間の学習状況の評価方法】</b> 下記の(2)に示した4つの観点から評価した第1学期の成績、第2学期の成績及び第3学期の成績を総合し、年間の学習成績とします。				

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受け身ではなく積極的に授業に取り組みましょう。あらかじめ教材に目を通しておくことが大切です。難解な語句・箇所をチェックしておくことで授業での理解が深まります。</li> <li>・興味のある単元（小説・評論・詩歌・随想）をみつけて、進んで広く読書しましょう。自然と語彙力や思考力も養われて来ます。</li> </ul>
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習をする。教科書の本文を読んでおいてください。</li> <li>・ノートは板書事項をただ写すのではなく内容を理解しながらとってください。後で見えてわかるノートにしましょう。</li> <li>・常用漢字テストはきちんと練習して受けるようにしてください。</li> <li>・提出物は遅れずに出すようにしましょう。</li> </ul>

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「関心・意欲・態度」、「思考・判断」、「資料活用の技能・表現」、「知識・理解」の4つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"><li>小説・評論・詩歌・随想などの作品に対して関心を高めているか。</li><li>意欲的に学習課題に取り組む態度を身につけているか。</li><li>他者の意見や考えを理解し、また、それに対して自分なりの判断・考え方を展開できているか。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>学習活動への参加の仕方や態度</li><li>ワークシート及びレポート</li><li>授業の中で使用するプリント</li><li>ノート</li></ul>
「思考・判断」	<ul style="list-style-type: none"><li>小説・評論・詩歌・随想などの作品に対して自分なりの評価や判断を下すことができるか。</li><li>評論文頭を学習することにより、論理的な思考ができるようになったか。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>定期考査の論述問題</li><li>ワークシート及びレポート</li><li>授業の中で使用するプリント</li><li>発表の内容や仕方</li></ul>
「資料活用の技能・表現」	<ul style="list-style-type: none"><li>様々な資料から作品の理解に必要な事項を読み取ることができるか。</li><li>自分で考察した内容について整理・工夫して適切に表現することができるか。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>ワークシート及びレポート</li><li>授業の中で使用するプリント</li><li>発表の内容や仕方</li></ul>
「知識・理解」	<ul style="list-style-type: none"><li>基本的な国語常識や語彙力が身に付いているか。</li><li>小説・評論・詩歌・随想などの内容を正しく理解できているか。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>定期考査</li><li>常用漢字テスト</li></ul>

3 担当者からのメッセージ

・現代文を学習することにより、読む、聞く、話す、書くといった基本的な国語の力を伸ばすことは勿論、他者の作品を正しく読み取り、様々な価値観にふれ、自分なりの考え・意見を構築することができます。それは私たちが生活していく上で欠かせないことです。また、わかりやすい授業を心がけます。